

理数科サイエンスリサーチ計画発表会



平成31年4月25日(木)理数科2年生によるサイエンスリサーチ計画発表会が行われました。

1 目的

この発表会の主な目的は、①研究テーマや研究計画の妥当性や実現可能性などを議論し、新たな仮説や研究手法に気づく機会とすること、②研究者の方により専門的な科学的見地からのアドバイスをいただき、研究の質的向上と意欲の喚起を図ること、にあります。



2 内容

理数科2年生の6つの課題研究グループごとに、研究テーマ・研究計画について8分間のプレゼンテーションを行い、その後6分間の質疑応答を行いました。また、指導助言者として霧島ジオパーク専門員である石川徹先生と霧島市霧島ジオパーク推進課の竹下淳一課長に御参加いただきました。



3 評価・検証

各研究班が自らの研究テーマの重要性や仮説、研究手法についてしっかりと発表を行い、また、生徒同士が互いの研究の問題点や手法の妥当性、研究計画の進捗予想などについて活発に議論することができました。発表会後には、各研究班で今回受けた指摘を参考に研究計画の修正や新たな課題について討議する姿が見られるなど、発表会の目的を十分に達したと考えます。なお、各グループの研究材料は以下の通りです。

物理班：炎と火災竜巻	化学班：お酢	生物班：オニクワガタ
地学班：津波堆積物	数学班：黄金律	情報班：アプリ開発



数学班、情報班も加わり、さらに活発な研究活動になることを期待しています。



研究計画プレゼンテーション



質疑・応答



研究者による指導助言



自主ゼミ（観光班）の活動

昨年度から活発な活動を始めている自主ゼミの観光班は、霧島PR課の協力の下、GW中の5月5日(日)に霧島市内の観光地を巡り、地域観光資源の確認や霧島市が直面する観光面の課題について学びました。最終的には、海外の若者にとって魅力ある観光プランを市に提言することを目指していると聞いていますが、観光という社会科学系のテーマでのこれからの探究活動がどのように展開していくか、楽しみです。



霧島市内の黒酢坪畑